

第56回仙台矯正管区教誨師研修宮城大会
研修事業評価委員会議事録

1 日時

平成26年10月17日(金) 午前11時30分から午後零時まで

2 場所

仙台サンプラザ(仙台市宮城野区榴岡5丁目11-1)

3 出席者

(1) 教誨師

大会委員長(宮城県教誨師会会長)	伊達 廣 三
宮城県教誨師会副会長	河上 政 信
宮城県教誨師会副会長	千葉 博 男
宮城県教誨師会事務局長	三浦 善 詔
宮城県教誨師会理事	梅澤 徹 玄
宮城県教誨師会理事	中村 瑞 貴

(2) 施設職員

宮城刑務所職員2名

4 議事内容

(1) 研修テーマ、討議題について

「教誨に願われていること」は常に問われているテーマである、具体的テーマであったとする意見がある一方、主語がはっきりしない、題材が抽象的で、その意義について解釈することが難しいとの意見もあった。

(2) 研修内容について

研究討議においては、内容が充実していた、施設職員との意見交換もできてよかった、発表と討議は聞いていて参考になるとの意見が合った。

記念講演については、矯正医療について現場経験のある講師だったので、貴重なお話を聞くことができたとの感想が大多数を占めていた。

(3) 研修の成果について

他施設の教誨師との交流を通して、活発な意見交換をすることができたため、色々な考え方に接する機会が得られた。各教誨師の考え方に触れ、学ぶところが大きいといった意見が際立っていた。

(4) 研修会全体の感想、課題、改善点について

研究討議については、発表者は4名おり、発表を全て聞き終えてから質問したとしても、討議時間に制約があるので、議論が深まらないのではないかと意見が多数あった。解決策として、刑事施設と少年施設の教誨師とに会場を分けることによって、討議に要する時間を増やすことができ、

一つの発表に対する議論が活発となり，発表者の考え方への理解が深まるのではないかとの声もあった。

5 アンケート結果

別添「教誨師大会アンケート結果」のとおり

教誨師大会アンケート結果(有効回答数45名)

①研修テーマ, 討議題について

	人数	割合
1 適切だった。	39	87%
2 どちらともいえない。	5	11%
3 適切でなかった。	0	0%
4 無回答	1	2%

- ・問題意識を持っていただき, さらに発展させていただくために, 適切なテーマと史料します。
- ・「心に響くやすらぎ」というテーマは, 宗教教誨ばかりでなく, 現代の社会全体のテーマでもある。素晴らしいテーマであった。
- ・教誨師として, 基本的に心掛けなくてはならないテーマであると思うから。
- ・次回も是非斬新なテーマを期待しております。
- ・教誨師としての立場, 自覚するには良かったでしょう。
- ・歴史のある境界の現代における役割を確認する事に意義があったと思う。
- ・心情不安定な受刑者が何を救いとしているかを問うテーマであり, 適切であったと史料する。
- ・広がりのある適切なテーマ設定だったと感じています。
- ・再犯防止の位置づけに必要である。
- ・問題意識を持っていただき, さらに発展させていただくために, 適切なテーマと史料します。
- ・このテーマは, 教誨活動をする上で, 宗派を越えて, 常に検証していく必要性が高いと思うので, テーマとして適切だったと思う。
- ・難しいテーマ, 心に響いているのか, やすらいでいるのか受刑者が決めることだから。
- ・過去との「中身」の違いが分かりにくい。
- ・「心」としての「いま, 教誨に願われていること」なのか, 主語がはっきりしない。

②研修内容について

	人数	割合
1 適切だった。	37	82%
2 どちらともいえない。	5	11%
3 適切でなかった。	2	4%
4 無回答	1	2%

- ・発表者が, 自分なりに真面目に取り組んでいる様子が伝わった。
- ・受刑者の心に寄り添うという討議題となっており, 各施設の実情等が良く理解できたと思料する。
- ・分科会などもあるといい。意見交換できる場がほしい。
- ・「心に響く」ために工夫・苦心している様子がよく分かった。
- ・普段知り得ない矯正医療の現状を知ることができた。
- ・様々な宗派の立場からの発表をいただき参考になった。
- ・各教誨師の発表がそれぞれに特色があり, 心に響くやすらぎの宗教教誨のテーマを基に内容が濃いものであった。
- ・発表者が限られた時間の中でよくまとめられていた。
- ・各刑務所の実態が分かって良かった。
- ・各々の教誨師の教誨の方法を聞かせてもらい参考になったが, 毎年同じような内容となってるように思う。
- ・施設内での処遇が, 被收容者にとっては, とても居心地のいいものになり, 暖かさを感じます。
- ・一方, 施設外の方は, それほど暖かくはありません。暖かくないというより普通なので, 施設内の暖かさが目立っている。
- ・心をもう少しテーマに関連する内容に絞れたのではないか。
- ・心テーマとパネラーの発言内容が別々の様に感じる。
- ・討議がかみ合っていない。発表者が準備不足。発表者の教宗派に偏りがあり, その調整が必要なのではないか。
- ・各発表者の体験を通した事例の紹介はなく, 自分の心構えや目標に終始していたことに物足りなさを感じた。
- ・意見交換が積極的になされた。
- ・著名な方ではなく, 矯正の現場の方を講演の講師としたことはとても良かったと思います。

③研修の成果について

	人数	割合
1 大いにあった。	32	71%
2 どちらともいえない。	11	24%
3 あまりなかった。	2	4%
4 無回答	0	0%

- ・記念講演が現場の実情を反映した内容だったので、ためになった。
- ・以前参加した大会に比して、研究討議がとても活発的で驚いた。
- ・教誨師の方々の意識、関心の高さに、背筋が伸びる思いでした。
- ・意見交換、質問等が多数あり、積極性が認められた点において効果があったと思料する。
- ・新鮮な気持ちで聞けました。
- ・各施設における、それぞれの教誨師の取り組みが具体的に見えて参考になった。
- ・具体的な取り組みが討議されており、他施設にとって参考になったのではないかと思う。
- ・矯正施設の方の発言が多々あり、情報発信の意欲が感じられて良かったです。
- ・即効性はないが、今後の教誨に活かしていきたい。
- ・発表者に対して、質問者の教誨師が宗派の分派としての教義の違いを批判する人がいた。公式場面ではふさわしくない。
- ・もう少しインパクトのある内容がほしかった。

④実施体制について

	人数	割合
1 充分だった。	36	80%
2 どちらともいえない。	9	20%
3 不十分だった。	0	0%
4 無回答	0	0%

- ・派手にならず、大変良い運営ができていたと思う。
- ・宗教教誨のみならず、刑事施設で何が行なわれているか等の説明も十分なされ、教誨に願われている方向性が明確となった。
- ・よく準備され良かった。
- ・簡素化が図られている。
- ・滞りなく実施されていたと思う。
- ・受付も実にスムーズで、大会運営も行き届いていて、心地良かった。休憩の時間休の取り方も丁度良かった。
- ・会議の規模もちょうど良く、他宗派の方のお話を聞くことができて良かった。
- ・環境の変遷により、できる限り経費削減を考えていくべき時期にきているのではないかと思います。
- ・丁寧に対応していただいた。
- ・担当者の一生懸命な対応が感じられます。ご苦労様でした。
- ・宿泊場所が少し離れていたことに不便さを感じた。

⑤研修会全体の感想

- ・討議と講演が充実していた。教誨師大会への認識が変わりました。
- ・総じて良かった。
- ・討議が新しい視点で良かった。
- ・他宗派の方との交流も研修になります。
- ・全体的に良かったです。とりわけ、矯正医療との取り組みは大変得るものがありました。
- ・年に一度の研修会を楽しみにしています。
- ・活発な質問も出て、とても有意義な研修会であった。
- ・テーマについて問われる範囲が広いので、何でも話せるような気がしました。
- ・刑務官の方々に全て、おんぶにだっこで申し訳ないと思いました。
- ・もう少し担当教誨師が分担しても良いと思います。
- ・今後も健さんの場として参加していきたいと思う。
- ・他宗派の触れ合いは、いつも勉強させられる。
- ・記念講演について、矯正医療の実情の一端が分かり非常にためになった。
- ・「心に響くやすらぎの教誨」という討議台であったところから、教誨師の教誨のあり方が問われ、自分のしていることを具体的にチェックする機会となり良かった。
- ・全体的に充実しており、今後の教誨の参考になった。

⑥研修会の課題・改善すべきと思われる点

- ・質疑応答など、的確な質問に欠けていると思った。命題をしっかり把握して、その場に合った内容を質問者は心掛けるべき。
- ・発表は施設側と協同で実務・実践内容を具体的に考える方が良かった。
- ・毎年研究討議に変わりばえがなく、新たな工夫の必要があると感じた。
- ・式典の祝辞は代表者一人でもいいのではないかと考える。
- ・儀式の簡略化が必要。
- ・表彰等は懇親会で授与してはどうか。研修時間を多く確保して、一日の日程にすれば参加しやすい。
- ・全体討議、あるいは、質疑応答の中だけでは、なかなか全参加者の意見を吸い上げることが難しいと思う。
- ・犯罪防止に直結するようなテーマとされたい。
- ・分科会を実施し、検討内容がより具体的なものとなるよう希望する。
- ・大会のテーマ「いま、教誨に願われていること」の中で、誰に願われていることか、収容者からなのか、施設からなのかははっきり聞きしたかった。
- ・テーマが少し抽象的だった。
- ・討議について具体的なことについて話し合われた方が効果的だったと思う。

⑦研修会で得ることができた点、その他参考になった点等があれば自由にご記入下さい。

- ・被収容者には、社会に出てからしっかり融けこんで生きて欲しいと願うばかりです。
- ・我々の教誨が、いかに自己満足なのか確認できました。
- ・記念講演を通して、刑務所でも暖かい医療を受けれることが分かった。
- 被収容者にとって、自己肯定感を育み、更生の一助になっていると理解することができた。
- ・他 教誨師の取り組み方、考え方を知ることができた。
- ・宗教教誨を行ってもらっている教誨師の発表を聞き、不安も抱えていたことがわかり、施設と情報を共有しながら協力体制を作っていくことが大切なのだと感じました。
- ・自分自身の教誨活動のあり方に参考になりました。
- ・教誨後の感想文を見せてくれる施設が複数あり、自施設においてもお願いしようと思った。
- ・教誨活動にそれぞれが苦勞されている様子が理解できた。
- ・教誨の具体的なやり方、他施設との比較等がおおよそ推察できた。
- ・研究討議において、「気付き」を与えるにはどの様にしたらよいか、考えさせられた。
- ・他施設の実情を、情報交換によって得ることができた。
- ・研究討議等を通して、心豊かな教誨師を目指したいと思いました。
- ・各宗派ごと個性的な教誨を実施していると思った。
- ・年一回、一堂に会して研修することは意義深いことだと思う。
- ・他の教誨師の実践を聞けることは、自身の教誨を考える上で大変役立つ。

⑧全体を通しての満足度

	人数	割合
1 満足	19	42%
2 やや満足	14	31%
3 普通	5	11%
4 やや不満	1	2%
5 不満	0	0%
6 無回答	6	13%